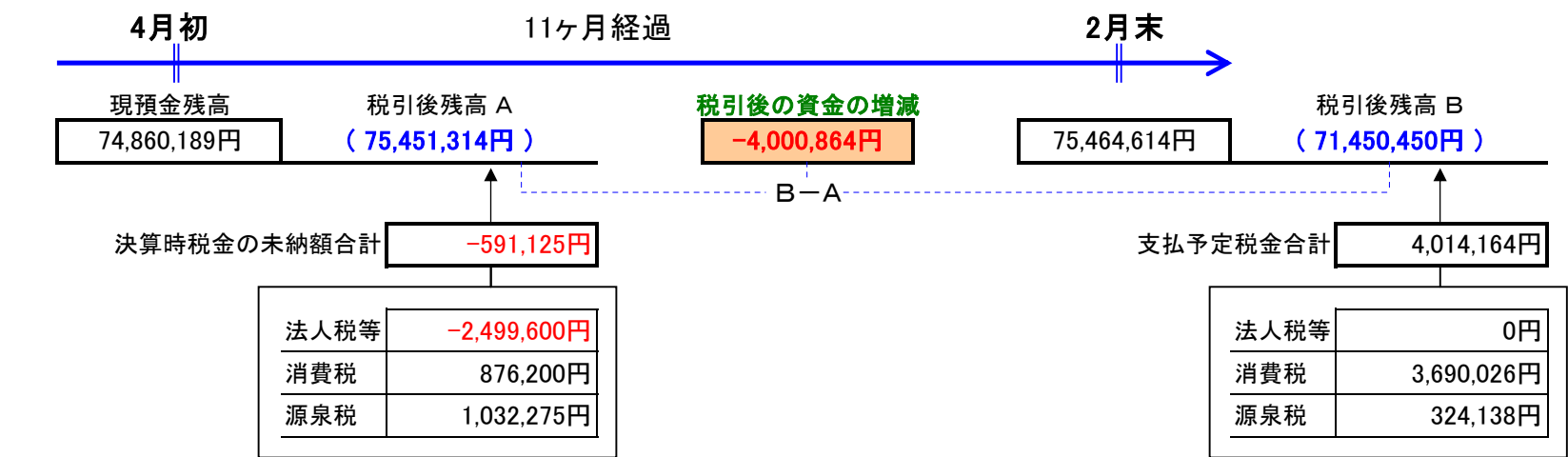


決算書見える化シート（貸借対照表）

株式会社 あいうえお

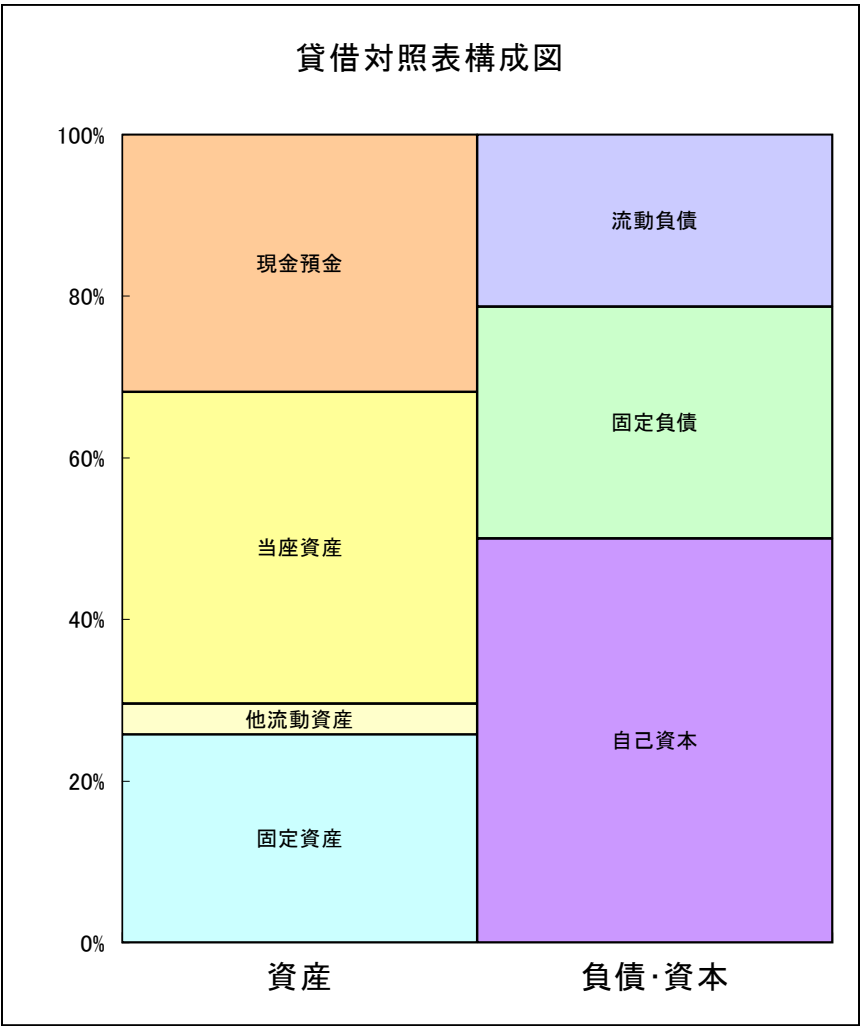
2月度

【Check1】資金の増減と税金の納付 税金を考慮した場合に資金は増えていますか？



【Check3】貸借対照表による資産と負債・資本のバランス

財務主要値と共に全体のバランスを検討しましょう。



【Check2】主要値 資産と負債に含まれているもののうち、注意すべきものです。

区分	残高	相手先・備考
売掛金		
未収金		
貸付金		
その他債権		
債権合計	0	
買掛金		
未払金	3,600,000	グループA社
借入金		
その他債務		
債務合計	3,600,000	

借金と不良債権

短期借入金残高… 0円

長期借入金残高… 67,860,000円

不良債権残高…… 0円

借入金の残高合計 67,860,000円

(平均利子率 2.0%)

売掛金 0円

受取手形 0円

その他 0円

(主要財務比率)

青字→高い方が良い／緑字→低い方が良い

	前期	当期
総資本回転率(売上高÷D)	133%	92%

投下資金の回転度合いを見る比率。高い方が、資金を何度も高速度で使っている状態。

	効率性	0%	1%
総資本経常利益率(経常利益÷D)			

投下資金でどのくらい経常利益を稼ぎ出したかを見る比率。少額資金で高利益を上げる方が効率的に良いように、高い方が、資金を効率的に使っている状態。

	安全性	155%	149%
流動比率(A÷B)			

流動資産が流動負債によって、どの程度「まかなわれて」いるかを見る比率。最低でも100%を超えていないと危険状態。高い方が財務安定度が高い。

	安全性	52%	50%
自己資本比率(F÷G)			

総資産が自己資本によって、どの程度「まかなわれて」いるかを見る比率。高い方が財務安定度が高い。

	安全性	29%	33%
固定長期適合率(C÷(E+F))			

長期資金が長期資産に投資されている割合を見る比率。低いほど、短期資産にも長期資金が投資されていることを意味し、財務安定度が高い。

	72.6年	25.1年
債務償還年数(有利子負債÷(営業利益+減価償却費))		

現状の有利子負債を自己資金で完済するには何年かかるかを見る数値。銀行の債務者区分評価に使用される、重要な数値。10年以内を維持することが必要。

資産の部			負債の部		
流動資産A	176,001		流動負債B	50,605	21%
[現金預金	75,465]	32%	(仕入債務	40,758)	
[当座資産	91,517]	39%	(他流動負債	9,847)	
(売上債権	84,662)		固定負債E	67,860	29%
(棚卸資産	6,855)		負債合計	118,465	
(有価証券	0)		純資産の部		
[他流動資産	9,020]	4%	資本金	10,000	
固定資産C	61,111	26%	資本剰余金	0	
(有形固定資産	49,728)		利益剰余金	108,647	
(無形固定資産	257)		自己株式	0	
(投資等	11,126)		その他	0	
繰延資産	0	0%	純資産合計F	118,647	50%
資産合計D	237,112	100%	負債・資本合計	237,112	100%

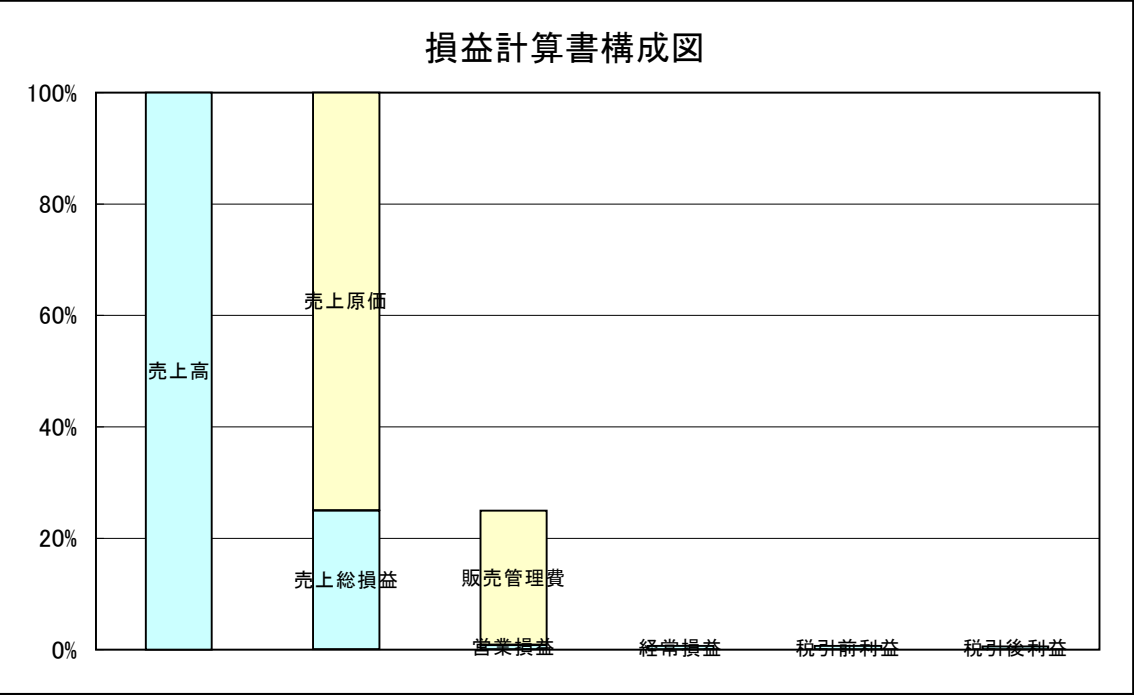
G

決算書見える化シート（損益計算書）

株式会社 あいうえお

2月度

【Check1】損益計算書による、損益のバランス 各段階の利益を通して収益構造を確認しましょう。



(千円)					
売上高	売上原価	販売管理費	営業外損益	特別損益	法人税等
218,957	164,218	52,880	-470	0	9
	売上総利益	営業利益	経常利益	税引前利益	税引後利益
	54,739	1,860	1,390	1,390	1,381

【Check2】主要値の把握によるコスト確認 収益と費用に含まれているもののうち、注意すべきものです。

100円の売上のうちに？

	前期	当期	
原価は	79.3	75.0	↓
固定費※は	20.7	24.7	↑
うち人件費	10.5	11.0	↑
役員他	2.8	2.8	→
粗利益は	20.6	24.9	↑
営業利益は	0.1	0.8	↑
経常利益は	0.0	0.6	↑
税引前利益は	0.3	0.6	↑

※ 固定費は、販売管理費と支払利息の合計

緑字→低い方がよい／青字→高い方がよい

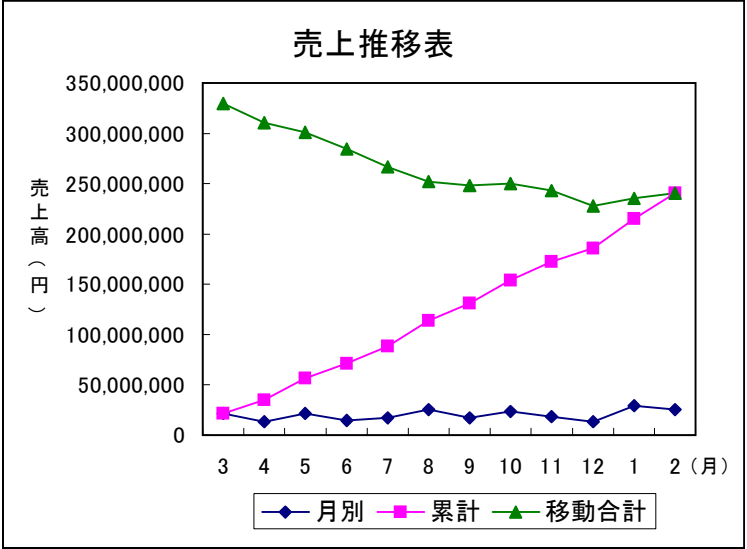
月平均額

売上高は	19,905,178	円
固定費※は	4,807,239	円
うち人件費	2,204,545	円
役員他	560,795	円

取引情報

区分	取引額(円)	相手先・備考
売上		
仕入		
委託料	7,200,000	グループA社へ
役員報酬		
地代家賃		
その他損益	240,000	役員社宅家賃
合計	0	

【Check3】月別売上推移による売上動向の把握 売上傾向を確認しておくことが最も大切です。



グラフの見かた

このグラフは「Zチャート」という形式のグラフで、数値の推移を分析するのに適しています。数値が全体的に上向きの場合には、右上がりのZになり、下向きの場合には、右下がりのZになります。

グラフ中の緑線は、売上高の移動累計を表します。移動累計とは、当月以前12ヶ月の累計値です。例えば当月が3月の場合には、前年4月から当月までの累計値になります。

グラフ中の3種類の各線の傾き具合によって、売上高の増減傾向が把握できます。

2期前		前期			当期			累計		移動合計	
売上高	前月比	売上高	前月比	前期比	売上高	前月比	前期比	売上高	売上高	売上高	売上高
4月	—	32,312,262	—	60.9%	13,481,210	—	41.7%	3月	21,543,911	21,543,911	
5月	82.7%	31,761,794	98.3%	72.4%	21,797,338	161.7%	68.6%	4月	13,481,210	35,025,121	
6月	70.5%	31,068,189	97.8%	100.4%	14,640,053	67.2%	47.1%	5月	21,797,338	56,822,459	
7月	106.7%	34,418,406	110.8%	104.2%	16,873,735	115.3%	49.0%	6月	14,640,053	71,462,512	
8月	109.3%	39,906,509	115.9%	110.5%	25,418,893	150.6%	63.7%	7月	16,873,735	88,336,247	
9月	112.8%	20,901,684	52.4%	51.3%	17,055,325	67.1%	81.6%	8月	25,418,893	113,755,140	
10月	105.8%	21,507,384	102.9%	49.9%	23,372,188	137.0%	108.7%	9月	17,055,325	130,810,465	
11月	104.3%	25,556,500	118.8%	56.9%	18,509,707	79.2%	72.4%	10月	23,372,188	154,182,653	
12月	77.4%	28,596,207	111.9%	82.3%	13,057,549	70.5%	45.7%	11月	18,509,707	172,692,360	
1月	128.4%	21,534,807	75.3%	48.2%	29,285,945	224.3%	136.0%	12月	13,057,549	185,749,909	
2月	47.7%	20,416,814	94.8%	95.9%	25,465,015	87.0%	124.7%	1月	29,285,945	215,035,854	
3月	115.6%	21,543,911	105.5%	87.5%				2月	25,465,015	240,500,869	
計	—	329,524,467	—	73.0%	218,956,958	—	66.4%				
平均	—	27,460,372	—	73.0%	19,905,178	—	72.5%				

【チェックポイント】 以下の部分を確認してここまでの業績を把握し、今後の計画にお役立てください。

損益計算書のチェック項目	貸借対照表のチェック項目
☐ 利益の増減の理由 ☐ 利益の増減の前期比較 ☐ 売上に占める主要値 ☐ 売上の変動傾向とその理由 ☐ 役員報酬や関係会社取引等、内部取引のバランスと、所得のバランス ☐ 決算時の納税見込み(法人税等)	☐ 利益の増減と資金の増減 ☐ 借入金の残高と返済額 ☐ その他支払いの残高と支払額 ☐ 実質的な手元資金 ☐ 今後の税金の支払予定と原資 ☐ 資産と負債・資本のバランス ☐ 決算時の納税見込み(消費税・源泉税)



以後の計画と対策は？